

来週のポイント

● 経済指標など

日本では、9日に「GDP(10~12月期2次速報)」が発表される。2日に発表された法人企業統計季報によると、設備投資は14年7~9月期から0.6%増加しており、企業の設備投資に対する意欲は底堅いといえる。こうしたことから、2次QEの設備投資は上方修正が予想されるが、在庫調整が進んだほか、公共投資も下方修正となるとみられ、全体ではわずかながら下方修正されると予想する。

また、9日には「機械受注統計(1月)」が発表される。前段でふれたとおり、企業の設備投資意欲は底堅く、また、関連指標では1月の資本財出荷指数は2ヶ月ぶりに上昇、1月の実質輸出も2ヶ月連続で増加しているなど、設備投資額は増加トレンドに入った可能性がある。ただし、工作機械受注(1月)などの下振れも散見され、また機械受注額は月々の振れも大きいことから、結果に注意する必要がある。

米国では、12日に「小売売上高(2月)」が発表される。コンセンサス中央値(Bloombergとりまとめ、6日現在)によれば前月比0.4%、自動車を除く前月比は0.4%と、ともに弱かった1月(それぞれ同0.8%、同0.9%)からの反動で増加するものの、東海岸の寒波による落ち込みをカバーするほどの勢いは見られない。

中国では、10日に「消費者物価指数(2月)」が発表される。コンセンサス中央値によれば、前年比1.0%と、1月(同0.8%)から小幅ながら上昇幅拡大の予想である。このところの原油安等を受けて物価上昇圧力は弱まっており、2月も再びインフレ上昇圧力が高まる状況にはないとみられる。

来週のスケジュール(3/9~3/15)

月日	国内の予定	海外の予定
3月9日(月)	メルケル・ドイツ首相来日(~10日) 中曽日銀副総裁講演・記者会見(愛媛県金融経済懇談会) 「GDP(10~12月期2次速報)」(2pに予測掲載) 「国際収支(1月)」(2pに予測掲載) 「景気ウォッチャー調査(2月)」	欧 ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル) 米 アップル社新商品発表会
3月10日(火)	流動性供給入札(0.3兆円程度) 「マネーストック(2月)」	欧 EU財務相理事会(ブリュッセル) 中 「生産者物価指数(2月)」 中 「消費者物価指数(2月)」
3月11日(水)	「機械受注(1月)」(2pに予測掲載) 「企業物価指数(2月)」(2pに予測掲載)	米 「MBA住宅ローン申請指数(3月6日週)」
3月12日(木)	5年利付国債入札(2.7兆円程度) 短期国庫証券(3M)入札(5.7兆円程度) 「第3次産業活動指数(1月)」(2pに予測掲載) 「法人企業景気予測調査(1~3月期)」	米 「小売売上高(2月)」 米 「新規失業保険申請件数(3月7日週)」 米 「失業保険継続受給者数(2月28日週)」 欧 「ユーロ圏鉱工業生産(1月)」
3月13日(金)		
3月14日(土)	北陸新幹線開業、上野・東京ライン開通	
3月15日(日)		米 法定債務上限の適用猶予終了 中 全人代閉幕

1. 来週発表予定の経済指標予測

10～12月期のGDP第2次速報(2次QE)【3月9日(月)8:50】

<当社予測> 実質GDP:前期比0.5%、同年率2.2% (1次QE:0.6%、2.2%)

名目GDP:前期比1.1% (1次QE:1.1%)

GDPデフレーター:前年比 2.3% (1次QE:2.3%)

法人企業統計季報の設備投資額(金融・保険業を除く全産業ベース、ソフトウェアを除く)は前期比0.6%と2四半期連続の増加。これを受けて1次QEでは同0.1%であった民間企業設備投資(実質)は同0.2%へ小幅上方修正されると予想する。一方、民間在庫投資は下方修正(前期比成長率への寄与度は0.1ポイントで変わらず)、公共投資も下方修正と予想。その結果、実質GDP成長率は同0.5%、同年率2.2%へ下方修正されると見込む。(南)

1月の国際収支統計【3月9日(月)8:50】

<当社予測> 経常収支: 原系列 200億円、前年比 --% (12月:1,872億円、---%)

季節調整済 9,850億円、前月比 0.9% (12月:9,766億円、6.8%)

1月の通関貿易統計によれば、欧米やアジアなどを中心に輸出が増加したものの、液化天然ガスの輸入量が高止まりを続けたことなどから、31ヶ月連続での貿易赤字となった。そのため、国際収支ベースでの貿易収支も9,900億円の赤字を見込む。一方、第一次所得収支は、円安効果もあり1兆4,000億円の黒字を見込む。その結果、経常収支全体としては200億円と7ヶ月ぶりの赤字を予想する。また、季節調整値は9,850億円と10ヶ月連続の黒字を予想する。(寺林)

1月の機械受注【3月11日(水)8:50】

<当社予測> 船舶・電力を除く民需:前月比 3.2% (12月:8.3%)、前年比 6.3% (12月:11.4%)

工作機械受注(1月確報、内需)は前月比20.0%と、大幅に低下したものの、資本財出荷指数(1月速報)は同10.3%と2ヶ月ぶりに上昇した(輸送機械を除くベースは同12.8%)。また、実質輸出指数(1月)も同5.0%と2ヶ月連続で上昇しており、設備投資は緩やかな増加傾向にあると判断される。以上を踏まえ、代表的な「船舶・電力を除く民需」は、3ヶ月連続で増加と予想する。(寺林)

2月の企業物価【3月11日(水)8:50】

<当社予測> 国内企業物価:前年比 0.1% (1月:0.3%)、前月比 0.4% (1月:1.3%)

原油安が一服するなか、石油製品や化学製品などの価格低下は鈍化するとみられる。一方、食料品や繊維製品などでこれまでの円安に伴って上昇したコストを価格に転嫁する動きが散見されるものの、その動きは弱まっている。こうしたことから、国内企業物価は前月比0.4%と小幅ながらも5ヶ月連続の下落となり、前年比でも0.1%と上昇を予想する。(趙)

1月の第3次産業活動指数【3月12日(木)8:50】

<当社予測> 第3次産業活動指数:前月比 1.2% (12月:0.3%)

商業販売額指数(商業動態統計1月速報)は前月比0.4%と2ヶ月連続で上昇したほか、電気事業連合会発表の販売電力(1月確報、10電力計)も前月比1.1%(当総研にて季節調整)と4ヶ月連続で増加、実質輸出指数(1月)も同5.0%と2ヶ月連続で上昇するなど、好調な結果が散見される。以上から、第3次産業活動指数は、2ヶ月ぶりの上昇を予測する。(寺林)

2. 債券市場

寺林 暁良

相場概況 (3/2～3/6 前場)

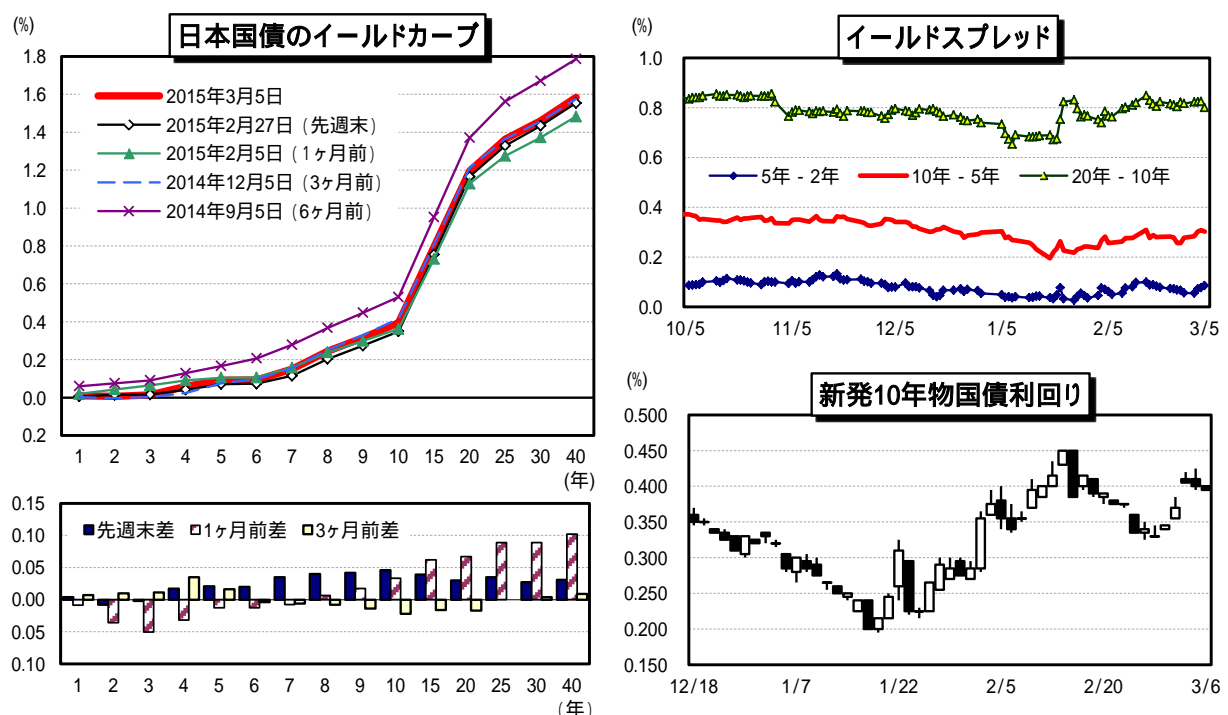
長期金利(新発10年国債利回り)は、10年国債入札が低調だったことから一時上昇したものの、30年国債入札通過後は再び低下に転じた。

週初の長期金利は、3日の10年国債入札の結果が低調となったことから上昇した。週中には日銀オペが行われたことで低下に転じる場面もあったが、5日の30年国債入札に対する警戒感から再び上昇し、一時2週間ぶりとなる0.425%を付けた。しかし週末は、30年国債入札がまずまずの結果だったことから再び低下し、0.4%ちょうど付近での推移となっている。

イールドカーブは、入札が低調だった10年ゾーンを中心に上昇した。6日の11:00時点の新発10年国債(#338)は、0.395%(先週末比+6.5ベースポイント)。同11:02時点の10年国債先物(中心限月3月物)は、147円56銭(先週末比34銭)。

来週の相場予想 (3/9～3/13)

9日に日本のGDP(10～12月期二次速報値)などは公表されるが、債券相場に大きく影響するとみられるイベントは予定されておらず、方向感の出にくい展開となるだろう。12日に5年国債入札が行われるが、無難な通過を予想する。



(資料)財務省「国債金利情報」より作成。新発10年国債利回りはBloombergより作成

国債入札結果

入札日	銘柄(回数)	表面利率	発行予定額	応札倍率	テール	最低価格	最高利回
3/3	10年利付国債(#338)	0.4%(0.3%)	2.4兆円	2.77倍(2.68倍)	33銭(45銭)	99.70円	0.431%
3/5	30年利付国債(#46)	1.5%(1.5%)	0.7兆円	3.76倍(2.67倍)	34銭(54銭)	99.45円	1.526%

(資料)財務省ホームページより農中総研作成。表面利率及び応札倍率、テールの()内数値は前回入札の値

3. 株式市場

趙 玉亮

相場概況 (3/2~3/6 前場)

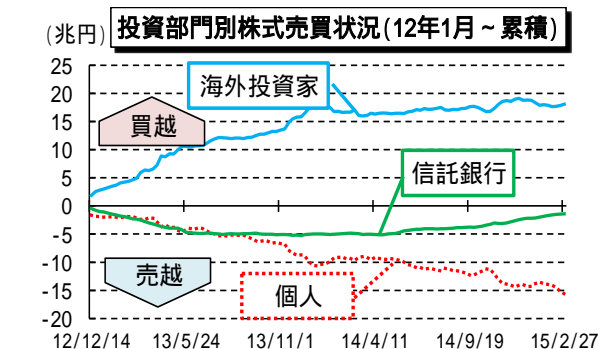
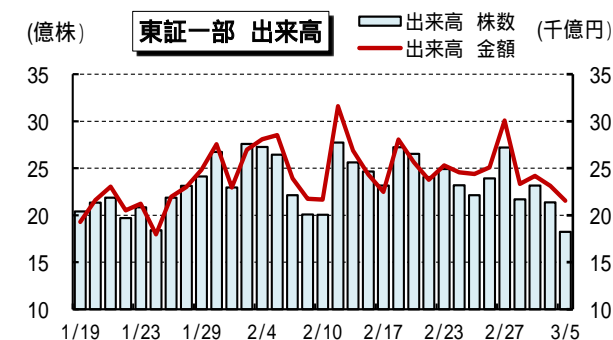
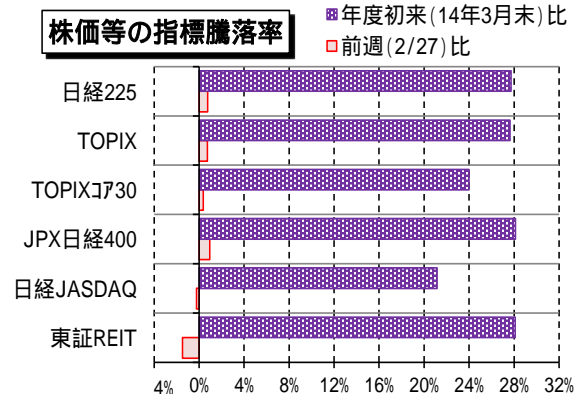
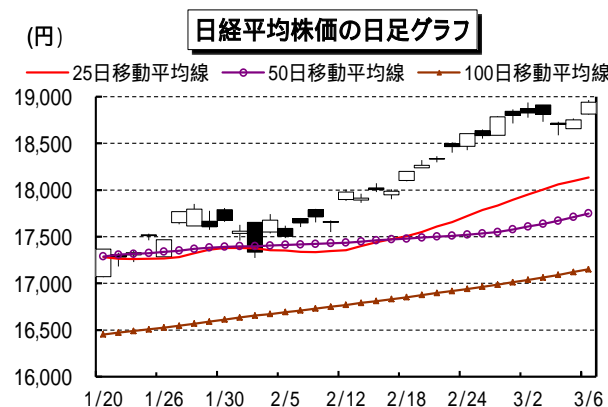
日経平均株価は、利益確定売りが優勢も、下値は年金買い期待から限定的だった。

2日は3営業日続伸、円安に振れたことや中国の追加利下げが好材料視された。3日は小幅反落、前日の米株高の流れを受けて買いが先行したものの、後場には利益確定売りが優勢となった。4日は続落、高値警戒感から調整の動きが広がったが、日銀ETF買い期待で下げ幅を縮小した。5日は小幅反発、ECB政策理事会や雇用統計を控え、薄商いのなか伸び悩んだ。6日前場は大幅続伸、ECBによる量的緩和の実施開始を受けた欧米株高を背景に、買い先行でスタートした。

来週の相場予想 (3/9~3/13)

日本では、GDP(10~12月2次速報)や機械受注(1月)が発表される。一方海外では、今週末米雇用統計が発表され、非農業部門雇用者数が目安となる20万人を超えると思われる。また、ECBによる量的緩和への期待も続いている。こうしたなか、来週は、短期的な過熱感は意識されるものの、公的年金の買い期待も継続し、全体として19,000円乗せを模索する展開を予想する。

<3/6前場終値> 日経平均: **18,939.83** (前週末比 +141.89) TOPIX: **1,535.16** (同 +11.31)



決算発表 注目銘柄 (変更になることがありますのでご注意ください) (資料) Bloomberg より農中総研作成

- (3/9) トーヨー、学情、ミリアル、東日本ハウス、ホールトゥイン・ピットクルー・ホールディングス
- (3/10) ドクターシーラボ、スズテン
- (3/11) 菱洋エレクトロ、東京楽天地、三井ハイテック、テンボス・マスターズ、ティー・ワイ・オー・ハラケミカル工業
- (3/12) スバル興業、シーイーシー、コーセル、菊池製作所、オハラ、東京ドーム、テックファーム
- (3/13) 丹青社、スリーディー・マトリックス、神戸物産、イチーム、丸善CHIホールディングス、稲葉製作所 など

4. 外国為替市場

新谷 弘人

相場概況 (3/2~3/6 前場)

ドル・円相場は、狭いレンジの取引ながら、ややドル高・円安へ

週初のドル・円相場は、前週末の米GDPなどの指標を受け119円台後半でスタート。その後、米国株が高値を更新するなか米金利も上昇し、120円台乗せとなった。ただ、このレベルでは長続きせず、本田内閣参与の円安をけん制する発言や豪中銀の利上げ見送りによる豪ドル高の影響もあり、反落した。週中は、119円台半ばでのみ合いが継続。5日はECBが量的緩和の詳細を発表したことにより、ユーロ安が進行、ドル・円は120.40円まで上昇した。6日前場にかけては、120円をはさんだ展開となっている。

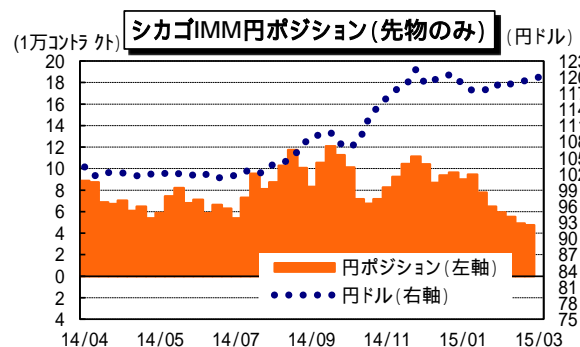
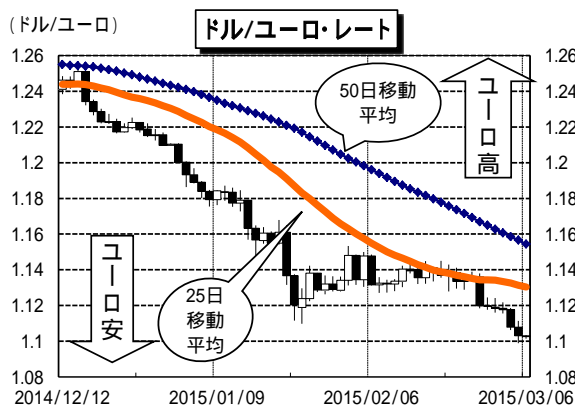
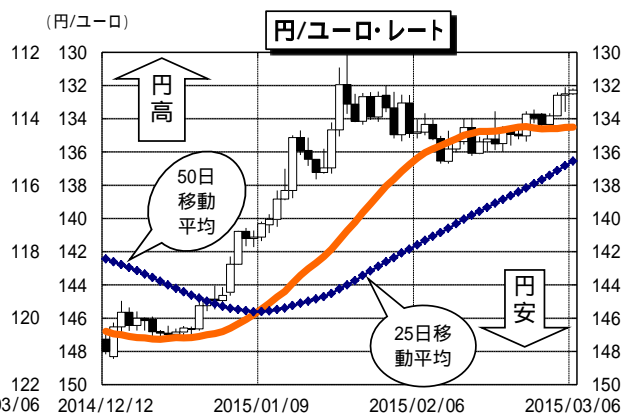
ユーロは、ECBの量的緩和開始を控え11年ぶりの安値へ下落

ユーロ・円相場は、週初ユーロ圏の2月CPIがやや持ち直したことから134円台半ばを回復した。しかし、その後はECBの量的緩和の詳細発表待ちのなか、ユーロ圏PMIなど冴えない経済指標を受け、132円台半ばまでユーロ安が進行。5日のECB関連では、経済見通しを上方修正したことから瞬間的にユーロが買われる場面があったが、量的緩和に関しては、マイナス金利でも購入することが確認されたことから132円台半ばに戻している。6日前場も132円台前半での推移となっている。

なお、ユーロは対ドルでは、一時1ユーロ=1.1ドルを割り込む11年ぶりの安値となった。

来週以降の相場予想 (3/9~3/13)

ドル・円相場に関しては、円安進行に関する政権側の警戒感もあることから、120円を大きく超えるレベルで定着することは当面見込みがたい。一方、ユーロ安・ドル高トレンドは継続する可能性が高く、円高進行にも限りがある。120円をはさんだレンジ推移を見込む。



(注) 1コントラクト=1250万円

(資料) Bloombergより農中総研作成

5 - 1 . 海外市場(米国、欧州)

(米国) 趙 玉亮、(欧州) 山口 勝義

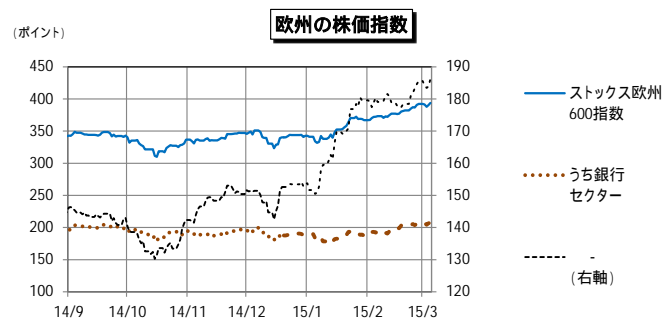
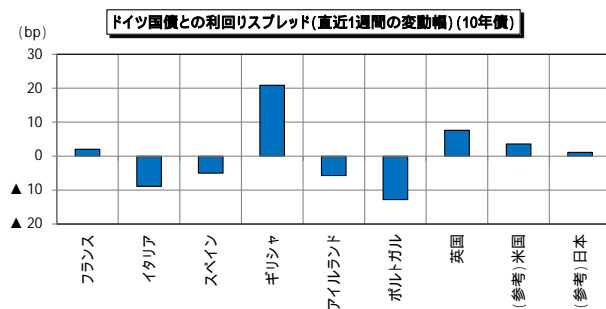
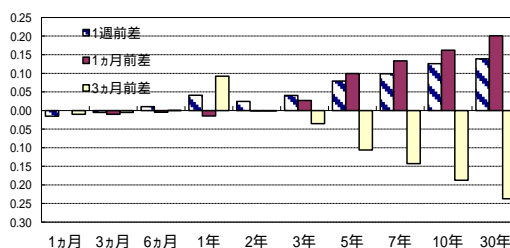
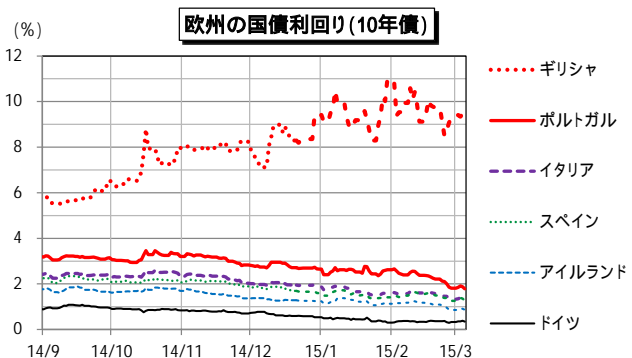
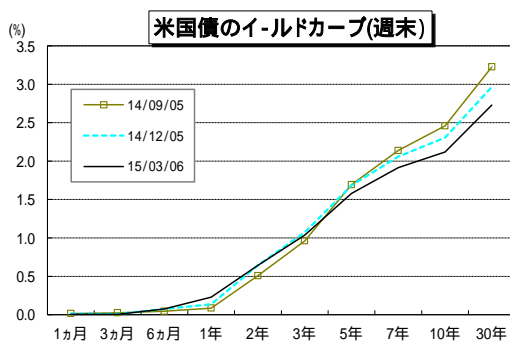
相場概況 (2/27~3/5)

【米国】

米国の長期金利(10年債利回り)は、週初には発表された経済指標が予想の範囲内であったものの、米株価が上昇する中、債券売りが強まって米長期金利が上昇し、2.19%(前週比では14bp上昇)となった。その後、金利上昇は一服して2.1%台推移。一方、株式市場については、ダウ工業株30種平均は2日に18,288.63ドルと史上最高値を更新した後、やや軟調な展開となった。5日は週間新規失業保険申請件数が市場予想より悪化したものの、雇用統計(6日)の発表を控えていることから、ダウ平均は小幅な上昇にとどまり、前週比では78.7ドル安(0.4%)で引けた。

【欧州】

ECBによるQEの開始を控え、イタリア国債、スペイン国債、ポルトガル国債等はドイツ国債とのスプレッドを縮小した。一方、ギリシャ国債については、今後の交渉の困難さが意識され、利回りが上昇した。なお、5日のECBの政策理事会でQEの詳細が決定され、9日に開始とされた。週を通じて、ドイツ10年国債は5bpの利回り上昇。株式市場では、ストックス欧州600指数が0.8%の上昇、また、うち銀行セクターは0.7%の上昇となった。



(資料)Bloomberg より農中総研作成

5 - 2 . 海外市場 (中国、その他新興・資源国)

(中国) 山口 勝義、(その他新興・資源国) 多田 忠義

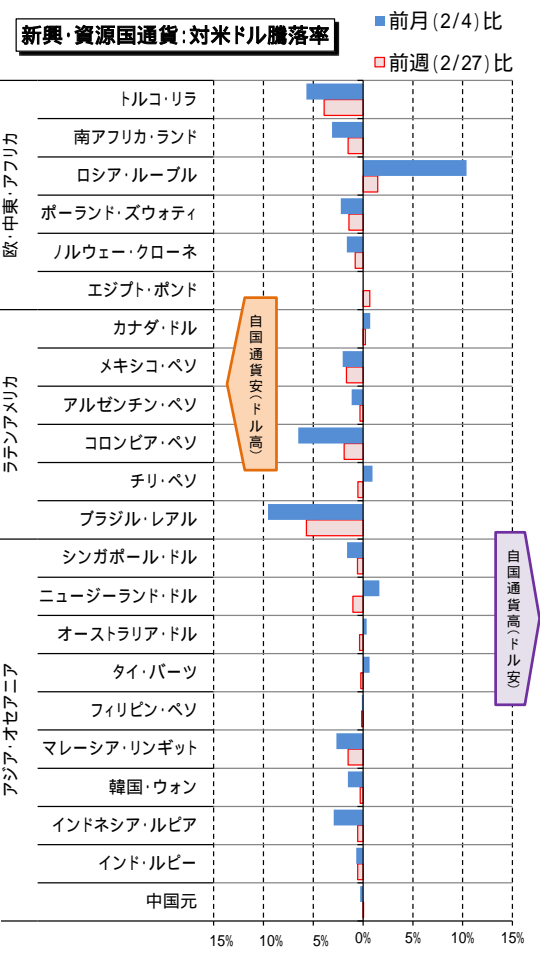
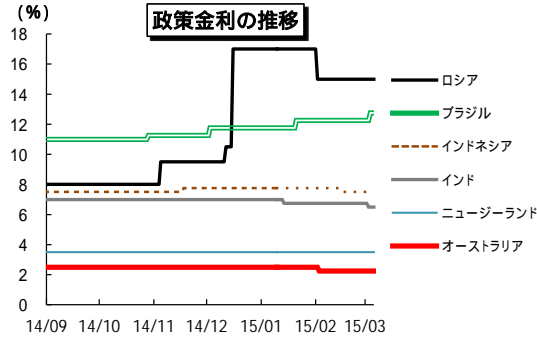
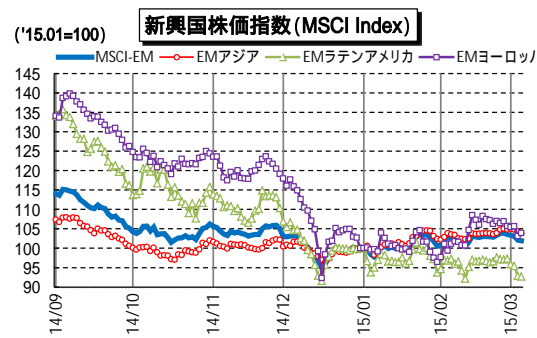
相場概況 (2/27~3/5)

【中国】

週初は、中国人民銀行(中央銀行)による利下げ発表(28日)や市場予想を上回った2月のHSBC製造業PMI(2日)などを受け、上海総合指数は底堅く推移した。しかしその後は、高値圏で利益確定売りが出やすいことに加え、新たなIPOの認可が明らかになるなど需給悪化懸念も広がり、また5日には全国人民代表大会(全人代)で、李首相が2015年の経済成長率の目標を7%前後とする方針を表明したことが嫌気され、同指数は下落した。週を通じて1.5%の下落。

【その他新興・資源国】

MSCI-EM 株式指数の変動に大きく寄与するブラジルや中国株が下げたことで、同指数はやや値を下げた。通貨は、各国の材料でまちまちであった。国別にみると、インドでは中央銀行が4日に今年2度目の緊急利下げを決定し、政策金利(レポレート)を7.75%から7.5%へ引き下げた。インフレが落ち着いていることに加え、国内経済が一部弱含んでいることなどが利下げの主な理由である。一方、ブラジルでは中央銀行が4日に4会合連続の利上げを決定し、政策金利を12.25%から12.75%へ引き上げた。レアル安基調に加え、干ばつによる野菜価格の高騰、公共料金等の値上げ等でインフレ上昇圧力は収まる気配がなく、これらに対応した。インドネシアでは、中銀総裁のルピア安容認発言で通貨安が一段と進み、09年以来の安値を付けた。ただし、ジャカルタ総合指数は、2日に終値ベースで過去最高値を記録した。オーストラリアでは、中央銀行が3日に利下げするとの見方が強まっていたが、据え置いたことで一時豪ドル高となった。



(注)一部通貨は前営業日終値、それ以外は本グラフ作成時点との比較
(資料) Bloombergより農中総研作成

6. 指標分析・注目点

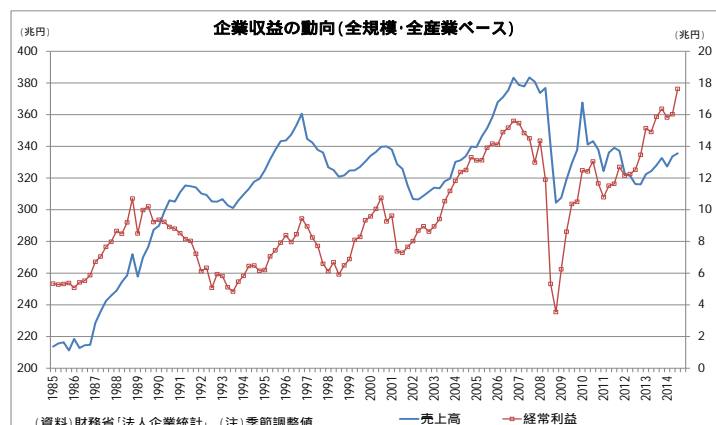
南 武志・新谷 弘人

今週のレビュー

2日発表された法人企業統計季報によれば、企業業績は増収増益となり、引き続き企業部門の堅調さを確認する内容であった。売上高は2014年10～12月期の全産業ベース(金融・保険業を除く)で、前年比2.4%と6四半期連続の増収、うち製造業は同0.1%と6四半期連続、非製造業は同3.4%と7四半期連続でプラスとなった。

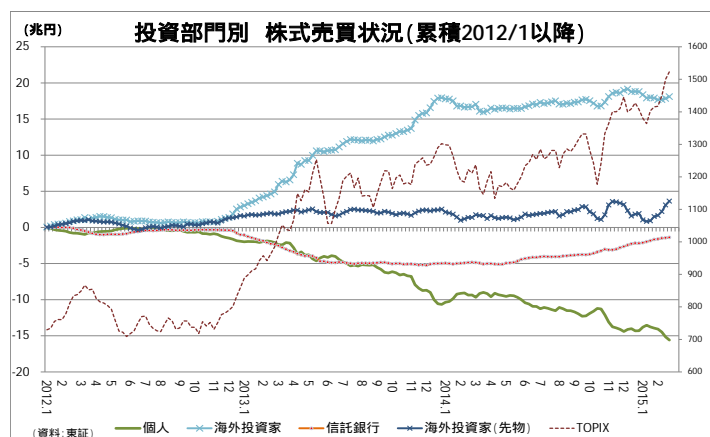
また経常利益は前年比11.6%と12四半期連続の増益、季節調整済の計数で過去最高だった14年1～3月期を上回っている。うち製造業では同16.4%、非製造業では同8.3%であった。経常利益増減率(前年比)を要因分解すると、人件費が利益押下げ要因となったが、それ以外の売上高、変動費、人件費以外の固定費は押し上げに寄与した。

一方設備投資(ソフトウェア投資を含む)は、前年比2.8%と7四半期連続で増加ながらも増加率は鈍化、なお製造業で同8.0%、非製造業で同0.3%の増加となった。アベノミクス登場以来、設備投資の回復期待は高まっているが、実際の投資額は非常に緩やかな増加にとどまっており、後ズレ・先送りが発生している。本格的な設備投資需要の回復には国内景気の持ち直しペースの加速が必要で、早くとも15年度半ば以降とみられる。



また、5日発表された投資部門別株式売買状況によれば、株価上昇が続いた2月最終週は海外投資家と信託銀行が買い越し、個人が売り越しと、最近の傾向が継続した。昨年10月末のサプライズ緩和以降の累計では、海外投資家が1.3兆円買い越しにとどまる一方、信託銀行は1.9兆円の買い越しとなっている。株価上昇に対する寄与度に関しては、安倍政権発足前後から2013年にかけて17.2兆円買い越しした海外投資家の縮小と、公的年金の保有比率変更が取りざたされ始めた昨年5月以降3.7兆円の買い越しとなっている信託銀行の拡大が際立っている。

もっとも、海外投資家の先物売買動向まで勘案すると、様相は若干異なってくる。すなわち、右図にあるとおり、サプライズ緩和以降の海外投資家の先物売買はそれ以前と比較するとかなり激しく、市場の乱高下への寄与は大きい。公的年金や日銀の買いにより相場は下支えされるなか、長期投資ではないデリバティブを振り回す海外ファンド勢がボラティリティを高める展開には注意が必要だ。

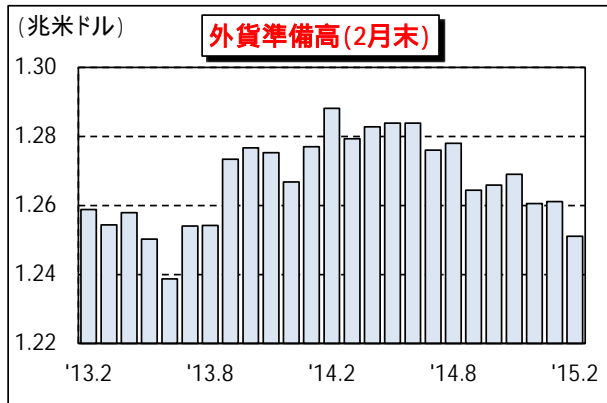


7. 今週の主なできごと

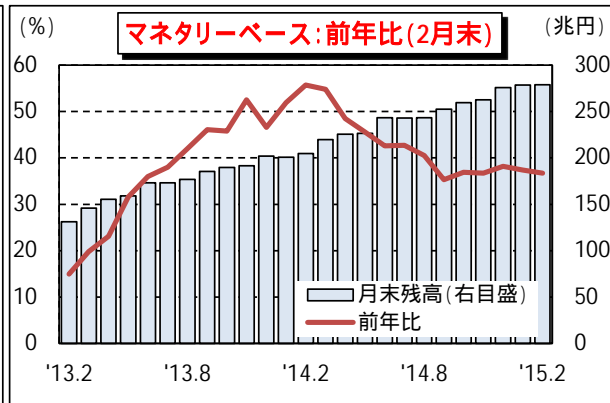
月 日	政治・財政	経済・金融	海外・その他
2月27日(金)		・三井住友銀行:3月適用分の住宅ローン金利の一部を引き上げると発表、固定金利特約型の5年物を0.05%引き上げ3.25%へ、10年物を0.10%引き上げ3.40%とした	・ロシア:プーチン政権を批判してきた野党指導者のボリス・ネムツォフ元第1副首相(55)がモスクワ中心部で銃撃されて死亡 ・米議会:27日深夜に期限が切れる米国土安全保障省の暫定予算について、1週間延長の法案を賛成多数で可決 ・英国ウィリアム王子が来日
2月28日(土)			
3月1日(日)			
3月2日(月)	・財務省:協同組合の法人税率の引き下げを検討、法人税率(国税部分)は19%から17~18%に下げ一方、繰越欠損金制度は縮小との報道		・ナスダック:5,000ポイントを超え、約15年ぶりの高値となった
3月3日(火)	・政府:2020年に電力9社の発送電を分離し、都市ガス3社にも22年に導管部門を分社化するよう義務付ける電気事業法などの改正案を閣議決定		・イエレンFRB議長:「銀行規制と監督」について講演し、米国発の金融危機の再来を防ぐため米国で活動する内外の大手金融機関の「監視を引き続き徹底していく」と述べる ・英銀ロイヤル・バンク・オブ・スコットランド(RBS):米国とアジアの投資銀行部門で最大1万4000人の削減を計画していると報道
3月4日(水)			・米連邦準備理事会(FRB):地区連銀経済報告(ページブック)を発表、「米経済活動は1月初めから2月半ばにかけて、大部分の地域と分野で引き続き拡大した」と指摘 ・ブラジル中銀:政策金利の基準金利を0.5%引き上げ年12.75%にすると発表 ・インド準備銀行(中央銀行):政策金利のレポレートを7.75%から7.5%に引き下げると発表
3月5日(木)	・自民、公明、民主、維新、次世代、生活の与野党6党:選挙権年齢を「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる公職選挙法改正案を共同で提出、16年参院選での実施目指す	・金融庁と東京証券取引所:社外取締役を2人以上置くことを柱にした企業統治指針(コーポレートガバナンス・コード)を正式決定、上場企業を対象に6月1日から適用 ・木内日銀審議委員:日銀が昨年10月に決めた追加の金融緩和について、「実質的な財政ファイナンスとみなされる潜在的なリスクが高まる懸念がある」「効果がコストや副作用に見合わない」と言及	・全国人民代表大会(第12期第3回会議):李克強首相は政府活動報告で、15年の経済成長率の目標を14年より0.5ポイント下げ、7%前後とする方針を正式に表明 ・リッパート駐韓米国大使:ソウル市内での会合に出席した際に襲撃され負傷
3月6日(金)			

8. 日米経済指標の動向(グラフ)

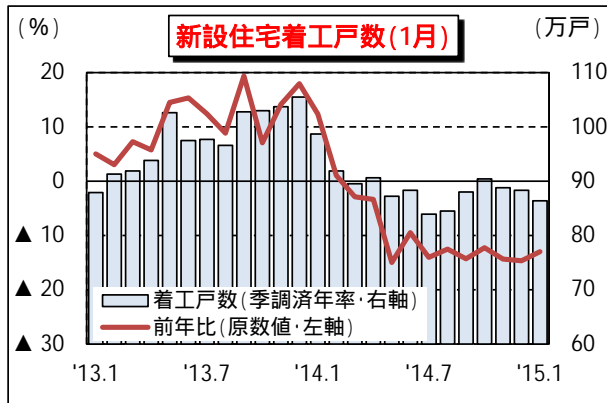
【日本】



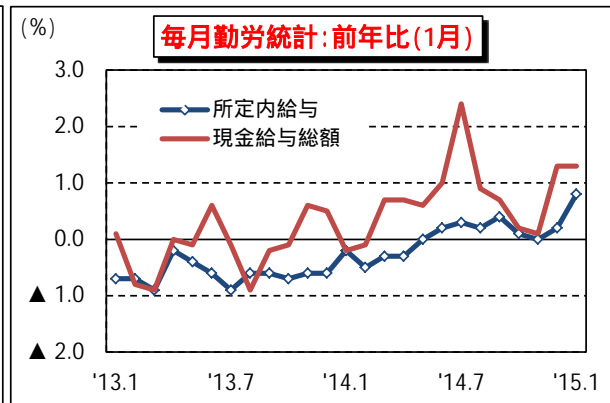
外貨準備高は、1兆2,511億米ドルと2ヶ月ぶりに減少した。



マネタリーベースの月末残高は、前年比36.7%の278.9兆円だった。

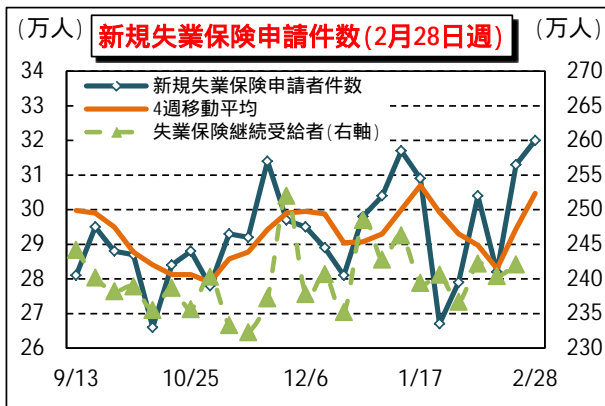


新設住宅着工戸数(季調済年率)は86.4万戸と3ヶ月連続で減少した。前年比(原数値)では 13.0%と11ヶ月連続の減少。

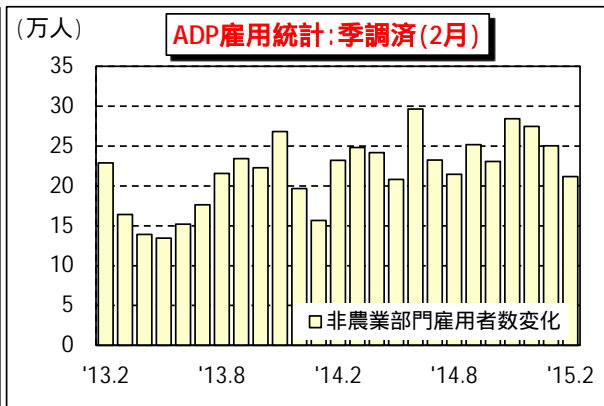


現金給与総額は、前年比1.3%と10ヶ月連続で上昇した。所定内給与は同0.8%、所定外給与は同2.6%。

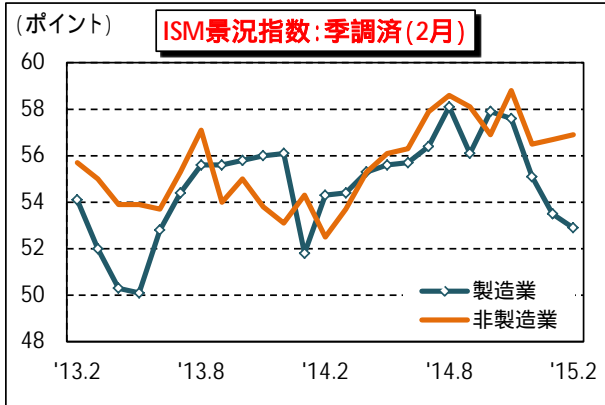
【米国】



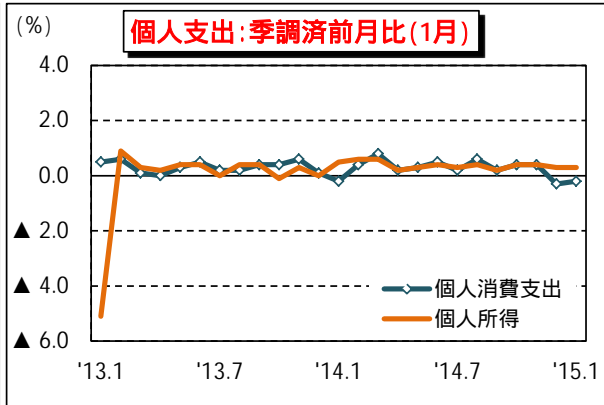
新規失業保険申請者件数は、32.0万人と事前予測(29.5万人)を上回った。また、失業保険継続受給者数(2月21日週)も、242.1万人と事前予測(239.5)を上回った。



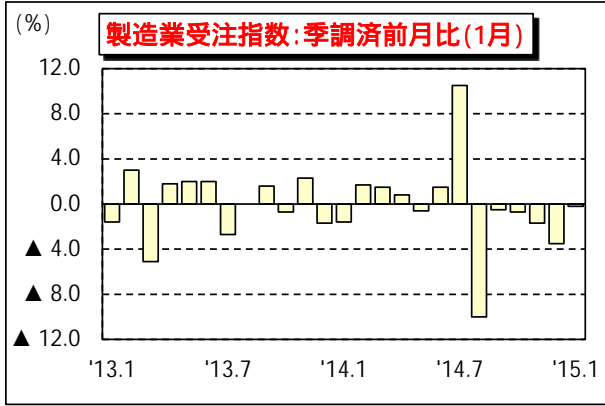
ADP社発表の雇用統計の非農業部門雇用者数変化は21.2万人と事前予測(21.9万人)を下回った。



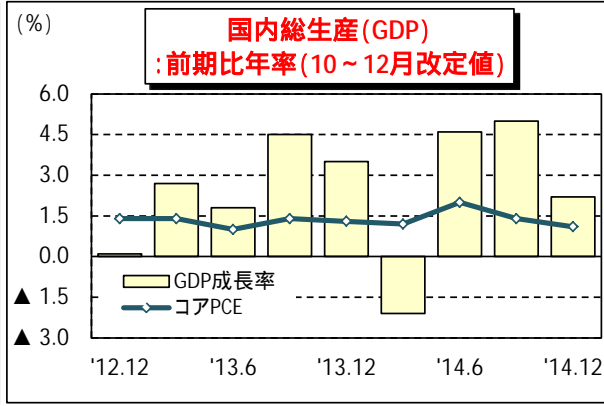
米供給管理協会(ISM)発表の製造業景況指数は52.9と事前予想(53.0)を下回った。一方、非製造業景況指数は56.9と事前予測(56.5)を上回った。



個人支出は、前月比 0.2%と事前予測(同 0.1%)を下回った。個人所得も、同0.3%と事前予測(同0.4%)を下回った。



製造業受注指数は、前月比 0.2%と事前予測(同0.2%)を下回った。



GDP成長率の改定値は、前期比年率2.2%と、速報値(同2.6%)から下方修正された。

内外金融市場データ

	長期金利			短期金利				外国為替			国内株価指数		海外株価指数				海外金利			その他			
	新発10年国債利回	債先10年物中心限月	金利スワップレート5年物(円-円)仲値	無担保コール翌日物	国庫短期証券3ヶ月物	TIBORユーロ円3ヶ月	TIBORユーロ円6ヶ月	金利先物(利回)中心限月	ドル円スポットレート東京17:00現在	ユーロドルスポットレート	ユーロ円スポットレート東京17:00現在	日経平均株価225	TOPIX	米国NYダウ工業株30	米国ナスダック総合	ス톡クス欧州600	中国上海総合	米国財務省証券3ヶ月物国債利回	米国財務省証券10年物国債利回	独10年物国債利回	NY金先物期近	NY原油先物WTI期近	OPEC原油バスケット価格
15/01/08	0.285	148.12	0.218	0.074	▲ 0.027	0.1790	0.266	0.155	119.81	1.179	141.62	17,167.10	1,377.67	17,907.87	4,736.19	342.35	3,293.46	0.015	2.018	0.510	1,209.3	48.79	45.68
15/01/09	0.275	148.20	0.225	0.075	▲ 0.057	0.1790	0.266	0.155	119.44	1.184	140.87	17,197.73	1,380.58	17,737.37	4,704.07	337.93	3,285.41	0.015	1.945	0.492	1,217.0	48.36	45.19
15/01/12	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	1.183	休場	休場	休場	17,640.84	4,664.71	339.87	3,229.32	0.015	1.907	0.478	1,233.7	46.07	43.55
15/01/13	0.265	148.29	0.231	0.074	▲ 0.055	0.1790	0.266	0.160	118.25	1.177	140.14	17,087.71	1,374.69	17,613.68	4,661.50	344.77	3,235.30	0.025	1.900	0.477	1,235.3	45.89	41.50
15/01/14	0.250	148.39	0.221	0.073	▲ 0.055	0.1790	0.266	0.160	117.09	1.179	138.17	16,795.96	1,357.98	17,427.09	4,639.32	339.67	3,222.44	0.025	1.855	0.424	1,235.4	48.48	41.65
15/01/15	0.250	148.36	0.225	0.074	▲ 0.055	0.1790	0.266	0.155	117.67	1.163	138.58	17,108.70	1,376.60	17,320.71	4,570.82	348.45	3,336.46	0.025	1.715	0.474	1,265.7	46.25	43.14
15/01/16	0.240	148.40	0.208	0.074	▲ 0.039	0.1790	0.266	0.150	116.55	1.157	135.57	16,864.16	1,363.73	17,511.57	4,634.38	352.40	3,376.50	0.015	1.837	0.454	1,277.9	48.69	43.40
15/01/19	0.200	148.62	0.160	0.074	▲ 0.041	0.1780	0.265	0.130	117.17	1.161	135.45	17,014.29	1,372.41	休場	休場	353.18	3,116.35	0.015	1.837	0.439	休場	休場	43.87
15/01/20	0.215	148.47	0.166	0.077	▲ 0.047	0.1760	0.263	0.125	118.25	1.155	137.06	17,366.30	1,397.63	17,515.23	4,654.85	355.96	3,173.05	0.005	1.788	0.449	1,295.2	46.39	43.04
15/01/21	0.245	148.17	0.192	0.074	▲ 0.055	0.1730	0.259	0.135	117.66	1.161	135.48	17,280.48	1,390.61	17,554.28	4,667.42	358.12	3,323.61	0.020	1.872	0.524	1,294.7	47.78	43.25
15/01/22	0.310	147.65	0.229	0.075	▲ 0.058	0.1730	0.258	0.140	118.00	1.137	136.62	17,329.02	1,389.43	17,813.98	4,750.40	364.05	3,343.34	0.015	1.863	0.447	1,301.7	46.31	43.05
15/01/23	0.225	148.40	0.204	0.073	▲ 0.001	0.1730	0.257	0.145	118.22	1.120	134.13	17,511.75	1,403.22	17,672.60	4,757.88	370.37	3,351.76	0.015	1.797	0.362	1,293.6	45.59	43.69
15/01/26	0.225	148.53	0.200	0.071	▲ 0.002	0.1730	0.257	0.145	118.18	1.124	132.81	17,468.52	1,402.08	17,678.70	4,771.76	372.39	3,383.18	0.005	1.824	0.395	1,280.4	45.15	42.90
15/01/27	0.265	148.06	0.227	0.073	▲ 0.003	0.1730	0.257	0.145	118.04	1.138	132.80	17,768.30	1,426.38	17,387.21	4,681.50	368.70	3,352.96	0.015	1.823	0.383	1,292.9	46.23	43.24
15/01/28	0.290	147.88	0.246	0.087	▲ 0.002	0.1730	0.257	0.150	118.14	1.129	134.02	17,795.73	1,429.92	17,191.37	4,637.99	369.08	3,305.74	0.015	1.721	0.353	1,287.2	44.45	44.08
15/01/29	0.285	147.94	0.245	0.071	▲ 0.001	0.1730	0.256	0.150	117.71	1.132	132.88	17,606.22	1,413.58	17,416.85	4,683.41	368.76	3,262.31	0.005	1.751	0.359	1,255.9	44.53	43.88
15/01/30	0.275	148.13	0.231	0.071	▲ 0.005	0.1730	0.256	0.150	117.90	1.129	133.65	17,674.39	1,415.07	17,164.95	4,635.24	367.05	3,210.36	0.000	1.641	0.302	1,279.2	48.24	44.83
15/02/02	0.285	148.01	0.231	0.071	▲ 0.007	0.1730	0.256	0.145	117.59	1.134	133.06	17,558.04	1,408.75	17,361.04	4,676.69	367.28	3,128.30	0.005	1.664	0.313	1,276.9	49.57	48.19
15/02/03	0.355	147.38	0.260	0.073	▲ 0.014	0.1730	0.256	0.150	117.23	1.148	132.85	17,335.85	1,392.39	17,666.40	4,727.74	370.28	3,204.91	0.015	1.792	0.346	1,260.3	53.05	51.77
15/02/04	0.375	147.30	0.271	0.075	▲ 0.016	0.1730	0.256	0.155	117.54	1.135	134.78	17,678.74	1,417.00	17,673.02	4,716.70	372.10	3,174.13	0.005	1.751	0.367	1,264.5	48.45	52.22
15/02/05	0.355	147.33	0.269	0.076	▲ 0.016	0.1730	0.256	0.155	117.32	1.148	133.56	17,504.62	1,410.11	17,884.88	4,765.10	372.51	3,136.53	0.005	1.820	0.366	1,262.7	50.48	50.81
15/02/06	0.340	147.51	0.256	0.073	0.000	0.1730	0.256	0.155	117.37	1.132	134.38	17,648.50	1,417.19	17,824.29	4,744.40	373.31	3,075.91	0.015	1.957	0.375	1,234.6	51.69	53.36
15/02/09	0.355	147.42	0.269	0.081	0.000	0.1730	0.256	0.155	118.98	1.133	134.97	17,711.93	1,424.92	17,729.21	4,726.01	370.55	3,095.12	0.005	1.978	0.355	1,241.5	52.86	53.58
15/02/10	0.395	147.10	0.286	0.074	0.000	0.1730	0.256	0.155	118.73	1.132	134.52	17,652.68	1,427.72	17,868.76	4,787.65	372.94	3,141.59	0.005	1.997	0.370	1,232.2	50.02	53.14
15/02/11	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	1.134	休場	休場	休場	17,862.14	4,801.18	372.04	3,157.70	0.005	2.018	0.355	1,219.6	48.84	52.21
15/02/12	0.400	147.14	0.284	0.074	0.000	0.1730	0.256	0.165	120.28	1.140	136.23	17,979.72	1,449.39	17,972.38	4,857.61	374.83	3,173.42	0.010	1.984	0.319	1,220.7	51.21	52.86
15/02/13	0.415	146.96	0.286	0.073	0.000	0.1730	0.256	0.165	118.88	1.139	135.88	17,913.36	1,449.38	18,019.35	4,893.84	377.07	3,203.83	0.005	2.050	0.342	1,227.1	52.78	55.97
15/02/16	0.450	146.78	0.286	0.075	0.000	0.1730	0.256	0.165	118.61	1.136	135.56	18,004.77	1,459.43	休場	休場	376.55	3,222.36	0.005	2.050	0.334	休場	休場	56.43
15/02/17	0.385	147.23	0.256	0.079	0.003	0.1730	0.256	0.160	118.54	1.141	134.57	17,987.09	1,462.07	18,047.58	4,899.27	377.02	3,246.91	0.005	2.138	0.372	1,208.6	53.53	56.69
15/02/18	0.415	147.02	0.261	0.077	0.004	0.1730	0.256	0.160	119.18	1.140	135.73	18,199.17	1,482.67	18,029.85	4,906.36	380.37	休場	0.015	2.080	0.381	1,200.2	52.14	56.83
15/02/19	0.390	147.26	0.247	0.082	0.005	0.1730	0.256	0.160	118.71	1.137	135.45	18,264.79	1,494.93	17,985.77	4,924.70	381.41	休場	0.015	2.114	0.380	1,207.6	51.16	56.29
15/02/20	0.390	147.33	0.242	0.075	0.000	0.1730	0.256	0.160	118.83	1.138	134.96	18,332.30	1,500.33	18,140.44	4,955.97	382.27	休場	0.015	2.112	0.367	1,204.9	50.34	56.55
15/02/23	0.375	147.42	0.238	0.078	▲ 0.005	0.1730	0.256	0.160	119.22	1.134	135.40	18,466.92	1,502.83	18,116.84	4,960.97	385.08	休場	0.015	2.057	0.365	1,200.8	49.45	54.09
15/02/24	0.375	147.50	0.234	0.077	▲ 0.006	0.1730	0.256	0.155	119.25	1.134	135.11	18,603.48	1,508.28	18,209.19	4,968.12	387.25	休場	0.015	1.980	0.375	1,197.3	49.28	53.54
15/02/25	0.335	147.85	0.223	0.086	▲ 0.008	0.1710	0.255	0.155	118.83	1.136	135.15	18,585.20	1,507.62	18,224.57	4,967.14	386.76	3,228.84	0.015	1.969	0.325	1,201.5	50.99	53.81
15/02/26	0.340	147.85	0.223	0.075	▲ 0.008	0.1710	0.255	0.155	118.82	1.120	134.88	18,785.79	1,521.68	18,214.42	4,987.89	390.69	3,298.36	0.015	2.030	0.298	1,210.1	48.17	56.07
15/02/27	0.330	147.90	0.223	0.074	0.000	0.1710	0.255	0.155	119.29	1.120	133.78	18,797.94	1,523.85	18,132.70	4,963.53	392.21	3,310.30	0.010	1.993	0.328	1,213.1	49.76	56.83
15/03/02	0.345	147.87	0.226	0.075	0.000	0.1710	0.255	0.155	119.85	1.118	133.98	18,826.88	1,524.97	18,288.63	5,008.10	391.29	3,336.29	0.010	2.082	0.356	1,208.2	49.59	56.74
15/03/03	0.370	147.59	0.239	0.075	0.000	0.1710	0.255	0.160	119.79	1.118	134.21	18,815.16	1,526.83	18,203.37	4,979.90	387.68	3,263.05	0.010	2.119	0.362	1,204.4	50.52	55.94
15/03/04	0.405	147.59	0.239	0.075	▲ 0.007	0.1710	0.255	0.155	119.67	1.108	133.74	18,703.60	1,517.01	18,096.90	4,967.14	390.61	3,279.53	0.005	2.117	0.383	1,200.9	51.53	55.81
15/03/05	0.400	147.54	0.246	0.080	▲ 0.009	0.1710	0.255	0.155	119.81	1.103	132.41	18,751.84	1,523.72	18,135.72	4,982.81	393.78	3,248.48	0.005	2.115	0.348	1,196.2	50.76	
15/03/06	0.380	147.68					0.255	0.155	120.01	1.103	132.30	18,952.86	1,537.28				3,252.57		2.115		1,199.1	51.09	

(資料) Bloombergより農中総研作成。最終日は14時6分時点で入手可能な最新データを掲載。最終日のTOPIXは20分デイトレで表示。